

理工学研究科 生産開発工学専攻（取得可能免許種：高等学校専修／工業）

生産開発工学専攻は大学院の教員養成の理念に基づいて、「機械工学や電気電子工学を基盤として、材料・物性、エネルギー、システム制御、情報・通信、生産・加工等の広範囲の領域について、高度な専門能力を持つ人材を養成することを目的とする」ことを教育上の目的としている。これと併せて将来の技術者を育てる工学教育を担当できる教員の育成をめざす。さらに、学部の教員養成理念を基盤として、高度な専門的知識と幅広い識見を有し、地域社会や国際社会において実践的に活躍できる専門的職業人としての能力を備えた教員の養成をめざす。

専門実践力・数理能力

- (ア) 生産工学系では、機械システムを設計するための基礎、高度な情報処理技術や加工プロセス・生産システムの専門知識を身につけるための科目を配置する。
- (イ) 機械工学系では、熱流体、材料強度、構造強度、材料・新素材に習熟し、各種機械装置や機械システムが製作できる専門知識を身につけるための科目を配置する。
- (ウ) 電気電子系では、電気、電子、情報、通信の各分野における高度な専門知識を身につけるための科目を配置する。

コミュニケーション能力

- (エ) 研究活動や技術の実践、プレゼンテーションに必要な日本語および英語の能力（記述、対話、発表）を身につけるために「ゼミナール」および「理工学特別研究」を配置する。

課題解決能力

- (オ) 専門知識を用いて、与えられた課題において問題点を発見し、制約条件を考慮した解決策を見出して課題を解決する能力を身につけるために「理工学特別研究」を配置する。

科学技術者倫理

- (カ) 研究者・技術者としての高い倫理感を身につけるために「ゼミナール」を配置し、研究者・技術者倫理に関する講習を実施する。